

01 平和の文化



「平和の文化」とは

「平和」とは、単に戦争がないことではありません。

生命の尊厳や安全を脅かすすべてのものが、「平和」の対極にあります。

「平和の文化」とは、平和を築くための価値観、態度、行動、生き方のことです。

「平和の文化」を築くためには、対話、教育、そして人と人とのつながりを広げるなど、私たち一人一人のたゆみない努力が必要です。

戦争・暴力の文化

生命・人権の軽視

敵視・排斥

情報の統制

権力による支配

男女差別

環境破壊・不平等な開発

暴力・虐待

孤立・分断

武力紛争



平和の文化

生命・人権の尊重

寛容・多様性の尊重

情報の自由

民主的参加

男女の平等

公正で持続可能な開発

非暴力・対話

連帯・協力

平和・安全

出典：「ユネスコの平和の文化プログラム：序論」より D.アダムス&M.トゥルー
国際平和研究ニュースレター、vol.35, No.1, 1997年3月

国連が「平和の文化」を提唱

20世紀、人類は2度の世界大戦を含む幾多の戦争・紛争を経験しました。その反省に立って、国連をはじめ国際社会は、「戦争と暴力の文化」から「平和と非暴力の文化」へと、「人間の価値観や行動」そのものを変革していく努力が必要だとして、「平和の文化」を築くための取り組みを開始しました。

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」——
「平和の文化」は、このユネスコ憲章とも呼応するものです。

国連は1999年に「平和の文化に関する宣言及び行動計画」を採択し、生命の尊厳、教育・対話や協力を通じた非暴力の実践、環境の保護、男女の平等や人権の尊重に基づいた価値観、態度や振る舞い等、「平和の文化」に基づく生き方を呼びかけています。

1999

9月13日、国連総会において
「平和の文化に関する宣言」
「平和の文化に関する行動計画」
を採択

2000

国連「平和の文化国際年」

2001-2010

国連「世界の子どもたちの
ための平和の文化と非暴力の
国際10年」

2012-

国連総会議長が主催する
「平和の文化に関するハイ
レベルフォーラム」を開催

「平和の文化」の8つの行動領域

- ① 教育による「平和の文化」
- ② 持続可能な経済的・社会的発展
- ③ あらゆる人権の尊重
- ④ 女性と男性の平等を保障
- ⑤ 民主的な参加の促進
- ⑥ 理解と寛容、連帯
- ⑦ コミュニケーションと情報の自由な流通
- ⑧ 国際的な平和と安全

出典：1999年9月13日 国連総会決議53/243

国連「平和の文化」に関するハイレベルフォーラムより

1999年「平和の文化に関する宣言と行動計画」に関する国連総会決議(53/243)より20周年の2019年9月7日、記念の国連ハイレベルフォーラムが開催された。

アントニオ・グテーレス事務総長は、「国連が創設されて以来、世界の平和と安全に対するこのように複雑で多角的な脅威に直面したことはこれまでにありませんでした。このような重大な危機に直面して、グローバルな協力と行動のための本質的な基礎として『平和の文化』に向かって取り組むことがこれまで以上に重要になっています」と語った。

この決議を主導したアンワルル・K・チョウドリ元国連事務次長はこう語る。

「ある人がある時、非暴力的な方法で紛争解決に成功したとします。それは、その人が世界に大きな貢献をした、ということなのです。

その一つの行為によって、非暴力と協力の精神を他の一人へ伝えることに成功したからです。こうした精神は、何度も繰り返されることで飛躍的に成長します。そして、対立を非暴力で解決することを選択する度に、より容易く実践できるようになっていくのです」。



Photo: Ambassador Anwarul K. Chowdhury at 2019 HLF-CoP observing the 20th anniversary of the culture of peace at UN on 13 September 2019. Credit: UN

「平和の文化」を構築

女性平和委員会は、国連が提唱する「平和の文化」の構築を目指して活動を展開しています。

「平和の文化講演会」

2011年より、各界で「平和の文化」の構築に活躍する有識者を講師に招き、全国各地で「平和の文化講演会」を開催しています。テーマは、平和構築、人道支援、災害復興、子どもの人権、児童虐待、高齢社会、核兵器廃絶、ジェンダー平等、気候危機など、多岐にわたっています。



2022年2月 岐阜県



2022年10月 福岡県

「平和の文化フォーラム」

2003年より開催している「平和の文化フォーラム」では、“家庭、地域社会こそが「平和の文化」を生み出す出発点”との視点で、これまでに全国500以上の会場で1,800人を超える女性たちが登壇。それぞれの立場で「平和の文化」を築くために挑戦している体験や主張を発表し、共有してきました。

体験のテーマは、子どもの不登校やいじめ、差別・障がいなどの課題や、異文化交流、環境問題への取り組み、戦争体験の共有など、多岐にわたっています。

様々な世代の女性たちが真摯に語る体験は、深い共感と勇気の輪を広げてきました。



2019年11月 長野県



2009年、体験主張の中から18編を収録し、『朗らかに!私がつくる「平和の文化」』を出版(鳳書院)

平和の文化と希望展

急速に少子高齢化が進む日本社会が直面する諸課題を取り上げ、これからの時代に希望を持って生きるためにはどのような価値観の転換が必要なのか、共に考えるための展示を企画・制作しました。特に、子どもと高齢者に焦点を当て、「平和の文化」を社会の基盤とする大切さを訴えています。2015年から2020年に全国展開し、のべ34万人が来場しました。



各界識者・専門家との連帯・交流

国内外の識者・専門家との交流を通し、「平和の文化」の構築に関して意見交換をしています。



国連で「平和の文化」を主導してきた元国連事務次長のアンワルル・チョウドリ博士は、「平和の文化」を推進する女性平和委員会に大きな期待を寄せてきた。

2022年10月にはメンバーと懇談し、「平和の文化」の構築はSDGs達成の土台であり、長年その啓発・推進に取り組んできた女性平和委員会の存在は大きな希望であると語った。



アメリカのエマソン協会元会長、コルゲート大学教授のサーラ・ワイダー博士は、長年、女性平和委員会と「平和の文化」の推進をテーマに交流を重ねてきた。

2012年10月には東日本大震災の爪痕が残る宮城県の被災地を訪問。被災者と懇談したあと、「心を結ぶつける言葉の力」をテーマに講演し、参加者へ励ましを送った。

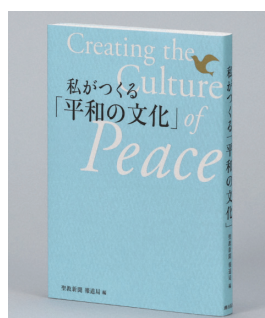


ニュージーランド・オタゴ大学国立平和紛争研究所のケビン・クレメンツ所長も、女性平和委員会と交流を深めてきた。

2012年3月の「平和の文化講演会」では、慈悲と人間愛あふれる「平和の文化」構築のために、多くの女性が地域や自治体の意思決定に積極的に関わってほしいと語った。

『私がつくる「平和の文化」』を機関紙に連載・出版

「平和の文化に関する宣言と行動計画」の採択より20周年となる2019年から3年間、聖教新聞に『私がつくる「平和の文化」』を連載。各界識者へのインタビューを通し、平和はどこか遠くにあるのでも、誰かが実現してくれるのでもなく、自分の今いる場所から始まることを訴えています。



新聞に連載後、出版された『私がつくる「平和の文化」』(2022.11潮出版社)



▲
本については
こちらから

<聖教新聞 連載一覧>

1. アンワルル・K・チョウドリ(元国連事務次長)
2. アグネス・チャン(歌手)
3. 治部れんげ(ジャーナリスト)
4. 廣野良吉(成蹊大学名誉教授)
5. 大谷美紀子(国連子どもの権利委員会委員)
6. ケビン・クレメンツ(戸田記念国際平和研究所所長)
7. サーラ・ワイダー(米エマソン協会元会長)
8. 坂東眞理子(昭和女子大学理事長・総長)
9. ベアトリス・フィン(ICAN事務局長)
10. 姜尚中(政治学者)
11. 長有紀枝(「難民を助ける会」理事長)
12. ベティ・リアドン(平和教育研究者)
13. 横山だいすけ(歌手・俳優)
14. 加藤寛幸(国境なき医師団日本・会長)
15. 土井香苗(ヒューマン・ライツ・ウォッチ日本代表)
16. 大久保勝仁(SDGs市民社会ネットワーク理事)
17. 森田正光(気象予報士・お天気キャスター)
18. 国谷裕子(ジャーナリスト)
19. 荻上チキ(評論家)
20. 和田征子(日本被団協事務局次長)
21. マンペラ・ランペレ(ローマクラブ共同会長)
22. 中満泉(国連事務次長・軍縮担当上級代表)
23. 内田伸子(お茶の水女子大学名誉教授)
24. デニ・ムクウェゲ(ノーベル平和賞受賞者・医師)
25. 井上真央(俳優)
26. 竹下義樹(日本視覚障害者団体連合会長・弁護士)
27. 向井千秋(宇宙飛行士)
28. 焼家直絵(国連WFP日本事務所代表)
29. アンドリュー・ヤング(米国で黒人初の国連大使)
30. 石岡史子(「ホロコースト教育資料センター」理事長)
31. 東京オリンピック・パラリンピック 南スーダン代表
32. 野口健(アルピニスト)
33. エメル(チュニジアの歌手)
34. パオ・チョニン・ドルジ(ブータンの映画監督)
35. エディス・エヴァ・イーガー(アウシュビッツを生き延びた心理学者)

